

## 比の残留日本人2世が来日 熊本空港で兄弟と初対面

フィリピン残留日本人2世の本田ダビッドさん(67)が7日、日本財団(東京)の国籍回復支援事業で来日



記者会見で寅雄さんの写真を見せるダビッドさん(中央)

し、甲佐町出身の父親寅雄さん(1979年死去)の親族と熊本空港で初めて対面した。

寅雄さんは1933年に

フィリピンに移住し市場で働いた。医師をしていたベリヤさんと結婚し、ダビッドさんら2人の子どもをも

うけたが、戦後、日本に強送還されて離ればなれとなった。寅雄さんは帰国後、新たな家庭を築いたという。

この日は同町に住む寅雄さんの息子孝明さん(64)ら親族約10人が同空港で歓迎。早速、記者会見し、ダビッドさんは「(親族に会えて)人生は悲しいこともあるが、素晴らしいこともあることが分かった」と喜びを表現。孝明さんは「これから兄弟としてよろしくお願ひします」と話していた。

ダビッドさんは8日、孝明さん方で寅雄さんの法要を行い、墓参りも予定している。

日本財団によると、フィリピン残留日本人2世は約3000人おり、うち約900人は父親の身元が分かっていない。同事業では、これまで65人が日本国籍を取得している。